

Life・Culture & Welfare 地域から発信 福祉を文化へ

焼津福祉文化共創研究会通信 第72号

7月定例研究会の議論「町内会」を支え合う仕組みにするには

「ご近所福祉」を語り合う中で、「町内会」の運営について、議論を深めることが多い。県内外の実践事例から、本会のこれまでの6年間の活動を振り返りながら、定例研究会を継続している。7月の議論では、「町内会」の仕組の現状について意見を交した。いろいろな人がいて当たり前な町内会、その町内会の仕組を「それぞれが思いやりを出し合い、支え合う」努力してくことを確認し合った。



「福祉委員会」をつくれればいいというものではない 町内会を「助け合える組織」に

町内会に福祉部を設けたり、町内会を軸に福祉委員会を設置する地区が増えているが、うまく機能している所はあまりない。組織は簡単につくれる。そこで友愛訪問(見守り)や食事サービスやふれあいイベント程度ならできるが、本格的な助け合いまで仕掛けることができているかは疑問だ。

小地域や町内会単位では(近隣はなおさらだが)住民の流儀でいかないと機能しない。下に、町内会のできる活動を並べてあるが、「私もその問題を抱えているから一緒にやらない?」と「当事者づら」で呼びかけた方がいい。それに「社会的な」活動にせず、個人が言い出し、仲間を呼び集め、個人的な場所で個人的にやるといふ感じにすべきだ。



平成21年度 静岡県委託事業「一人でも安心して暮らせる地域づくり事業(高齢者孤立ゼロ対策事業)」で、県内唯一「小川第11自治会」が「ご近所福祉事業」に取り組み【浪蔵劇団】誕生・・・あれから、16年、なんと430回公演が実現した

「浪蔵劇団」が、7月13日(日)に、小川地域交流センターで、第430回の公演が実現した。こうした尊い活動には原点がある。

今から16年前、静岡県委託事業「一人でも安心して暮らせる地域づくり事業(高齢者の孤立死・孤独死防止事業)」を、本会の「協働団体:静岡福祉文化を考える会」が、7年間受託した取り組みの2年目(平成21年度)に、「実践モデル事業地区」として、県内4か所のうちの一か所を、直接自治会にお願いして「小川第11自治会」に引き受けていただいた。7年間で、「実践モデル事業地区」は、ほとんど市町社会福祉協議会等に相談をして、承諾をいただくこととして進めていたが、当時、ご縁のあった小川第11自治会顧問の山口浪男氏に直接本事業について相談し、当時の自治会長の了解を取りつけていただき、事業を受け入れていただいた。本事業が単なる机上論で終ることなく、それぞれの地域性をもとに、検証することを事業計画に位置付け、県内の各市町に「モデル実践地区」をお願いした。2政令市を除くと、33市町(21市12町)のうち、14市(全体の67%)5町(42%)19市町(58%)



*平成21年度に、小川公民館にて、「ご近所福祉 IN 小川」が盛大に開催された



に及び。ほとんど、市町社会福祉協議会関連の地区が取り組まれて中で、唯一、焼津市小川第11自治会は、自治会独自の取り組みをして頂いた。地域社会では、「福祉」は他人事の認識が強く、特別な領域、難しい領域としか受け止められない状況にある中で、福祉を見える化・わかる化し、共感とともに感動を与える地域福祉教育の学びの場として、地域の課題を自治会役員等が演技をし「市民劇団」を立ち上げられた。それから16年が経過し、山口浪男さんは、92歳を生き生きと演じていた。感謝である。



シリーズ⑬ 若者発 ご近所福祉かるたで学ぶ



このコーナーでは、平成27年度・令和3年度・令和6年度に、協働団体：静岡福祉文化を考える会が、赤い羽根共同募金地域福祉広域助成事業により、世代を超えて身近な地域社会を学ぶ、地域福祉教育教材として

作成した「若者発 ご近所福祉かるた」(本会活動参画)を本誌第57号から「シリーズ」で紹介。

今回は「ほ」「ま」「絵札」は漫画家 法月理栄様が作画。*かるた等の問い合わせは、054-624-1924 平田まで



ほ
ほめ言葉
近所の子にも
声を掛け

我が子だけでなく近所の子達も見守りたいものです。近所の子にも声を掛けて「地域の子どもは地域で育む福祉力」向上を目指しましょう。



ま
窓開けて
道行く人にも
ご挨拶

長生きは閉じこもらず身も心も外へと向けていくことが大切です。自ら進んで「コミュニケーション力」UPを。

焼津福祉文化共創研究会事務局日誌拝見(7/13~8/23)

※予定含む

- 7/13 小川地域交流センターにおいて、「浪蔵劇団430回公演」開催
- 7/19 7月(第76回)定例研究会開催
- 7/21 7月(第76回)定例研究会議事録作成しプログアップ作業実施
- 7/30 静岡新聞に「浪蔵笑劇団430回公演」掲載あり
- 8/04 協働団体：静岡福祉文化を考える会「30年誌」計画に基づくデータ入力作業終わる
- 8/06 焼津福祉文化共創研究会通信第72号発行
- 8/23 8月(第77回)定例研究会開催 焼津市V連代表者会開催



本会は、平成28年度から3年間、中学校区を中心に、地域の課題を学び合おうと、住民主体に「地域ささえあい講座」を開講し、延べ614名の地域住民が参加した。この学び合いの成果をもとに、継続的な話し合いの場をつくろうと、令和元年度に結成し、7年目の活動を展開中 身近な地域のことを一緒に語りませんか。

本会(「焼津福祉文化共創研究会」)への問い合わせは下記をお願いします。
〒425-0041 焼津市石津3丁目10-8 焼津福祉文化共創研究会 平田 厚
Tel&fax054-624-1924 090-4861-4547
E-MAIL: monogusa-tomv@theia.ocn.ne.jp



焼津福祉文化共創研究会QRコード



協働団体：静岡福祉文化を考える会QRコード